

1/19
未決

高浜再稼働許さない

福井市民が審査書案の学習会

原発反対福井県民会議は15日、原子力規制委員会が再稼働に向けて新規制基準に「適合」したとして了承した関西電力高浜原発3、4号機（同県高浜町）の審査書案の問題

点についての学習会を福井市の県教育センターで開きました。約70人が参加し、市民団体の「美浜・大飯・高浜原発に反対する大阪の会」代表で元大阪府立大学講師の小山英之氏

が講師を務めました。

小山氏は同審査書案の問題点として、東京電力福島第一原発事故のケースのように放射能汚染水が大量発生する事態について想定と対策の不備や、狭い高浜発電所敷地の不利な条件を指摘。高浜3、4号機で使用が予定されているプルトニウム燃料の特別のリスクを強調して「プルトニウムはウランより核分裂しやすい」とのべ、使用後の行き場がない深刻な問題も指摘しました。

「もう動かすな原発！福井県民署名」実行委員会の共同代表の1人である山本富士夫福井大学名誉教授が、第1次集計で署名が20万人分を超えたと報告し、「歴代知事は直接受け取った。西川一誠知事にも直接受け取るよう強く求めています」とのべました。